

都庁クラス

専門科目は憲法・行政法・政治学・行政学・社会学・経営学のうち3科目を選択して受講します。下記日程は一例です。下記にない科目スケジュールは喜治塾までお問い合わせ下さい。

11月A生 11月8日開講

月曜日の日にち	火		水		木		土		日	
	昼	夜	昼	夜	朝	昼	朝	昼	夜	
11月5日					自然 1	社会学 1	10:30~17:30 数2-5			
11月12日					自然 2	社会学 2				
11月19日					自然 3	社会学 3		人文1.2		
11月26日					自然 4	社会学 4		人文3.4		
12月3日			政治学 1		自然 5	社会学 5		数的6.7		
12月10日			政治学 2					人文3.4		
12月17日	18:30~ 憲法 1		政治学 3							
12月24日			政治学 4							
12月31日			政治学 5							
1月7日	憲法 2		行政学 1		自然 6			数的8.9		
1月14日	憲法 3		行政学 2		自然 7					
1月21日	憲法 4		行政学 3		自然 8					
1月28日			行政学 4					数的10.11		
2月4日	14:30~ 人文5.6		行政学 5							
2月11日	人文7.8	憲法 5	行政学 6					数的12.13		
2月18日	人文9.10	憲法 6	行政学 7							
2月25日	人文11.12	憲法 7	行政学 8					数的14.15		
3月4日		憲法 8	行政学 9							
3月11日		憲法 9	行政学 10					数的16.17		
3月18日		憲法 10								
3月25日								数的18.19		
4月1日										
4月8日								数的20		

11月B生 11月26日開講

月曜日の日にち	火		水		木		土		日	
	夜	昼	昼	夜	朝	昼	朝	昼	夜	
11月26日	行政学 1				自然 1	社会学 1			数的+人文1.2	
12月3日	行政学 2		政治学 1		自然 2	社会学 2			数的処理	
12月10日	行政学 3		政治学 2		自然 3	社会学 3			人文3.4	
12月17日	行政学 4		政治学 3		自然 4	社会学 4				
12月24日			政治学 4		自然 5	社会学 5				
1月7日	行政学 5		政治学 5		自然 6				自然科学	数的処理
1月14日	行政学 6		政治学 6		自然 7				自然科学	数的処理
1月21日			政治学 7		自然 8				憲法 1	
1月28日			政治学 8						憲法 2	
2月4日	14:30~ 人文5.6		政治学 9						憲法 3	
2月11日	人文7.8	憲法 4	政治学 10						憲法 4	
2月18日	人文9.10	憲法 5							憲法 5	
2月25日	人文11.12	憲法 6							憲法 6	
3月4日		憲法 7							憲法 7	
3月11日		憲法 8							憲法 8	
3月18日		憲法 9							憲法 9	
3月25日		憲法 10							憲法 10	
4月1日										
4月8日										

4/8以降も2次試験対策を含めた講義が続きます

●価格はすべて税、入塾金、テキスト代、欠席/復習用フォロー一代込み

●都庁、横浜市を目指す方のためのクラス

専門科目 (1回3時間)	教養科目 (1回1.5時間)	2次対策
憲法 10	数的処理 20	面接対策 1
行政法 12	文章理解 2	模擬面接 2
政治学 7	人文科学 12	集団討論 1
行政学 6	社会・時事 5	
社会学 5	自然科学 16	
経営学 5	財政学・経済事情 4	
※上記から3科目選択	行政課題論文 2	
専門記述		

秋start受講料
一般価格
230,000円
演習10回
代理店価格
218,000円

論文書き直し、面接指導何度でもOK

2012年
都庁合格率
80%超!

※1次合格率

都庁
クラス

2012年度の都庁I Bの合格率は80%超。短時間の準備で合格可能です。

2012合格者速報

個人に寄り添って支えてくれる予備校

「個人に寄り添って支えてくれる予備校」を探して、様々な予備校の説明会に参加しました。そうした予備校探しの中で最も好感を抱いたのが、他ならぬ喜治塾でした。説明会では、喜治塾長が直接受講の相談にのってくださり、私の特殊な状況を理解してくれ、再受験に太鼓判を押してくださりました。そして塾のモットーである公務員試験専門の少人数授業という部分にも強く惹かれたため、入塾を決断しました。

入塾してみて最も印象的だったのが、とにかく講師の先生との距離が近い事と、講義のクオリティが非常に高かった事です。少人数授業のため、高校の授業のように先生が指名をして生徒が答える、といった両方向の講義が普通に行われるので、「黙って3時間の講義を受け続ける」というスタンダードな予備校スタイルを1年間続けた私には、本当に感動的でした。そして講義の内容自体も、元公務員ならではの実務経験に基づいた喜治塾長の授業は大変刺激的であり、また文系科目の多くを担当する五十嵐先生の授業は非常に論理的で、知識の背景を大切に魅力的な名授業が多く展開されていました。また、両先生とも気軽に質問やカウンセリングに応じてくれるため、2年目の不安を抱えていた私は、ことあるごとに両先生にアドバイスを受け、辛い受験生活を頑張りぬくことができました。

また、喜治塾の大きな魅力として、面接対策の充実が挙げられると思います。元公務員の喜治先生、そして元新聞記者の五十嵐先生という、異なる職業体験を経た上で指導にあたってくださる両先生の的確な面接指導は、他の予備校にない強力な特徴であると思います。そして何より両先生が本当に親身になって丁寧に指導にあたってくださるため、練習を積み、どんな事情を抱えた生徒さんでも、必ずや面接に自信を得られるはずです。私は、喜治塾に入って本当に良かったと思っています。今こうして合格を手にしたのも、ひとえに、親身になってサポートして下さった喜治先生、五十嵐先生のおかげです。



早稲田大学法学部卒業
慶應義塾大学院修士1年
島田 哲明さん
東京都I B
独立行政法人

都庁I B 合格率82%の実力

都庁の採用試験は、他の公務員試験とは違った特徴がいくつかあります。その特徴を踏まえたうえで対策をとることが合格への近道となります。都庁の採用試験は次の4つの試験からなっています。

キー
合格の鍵は
論文と面接

①教養科目(択一)、②専門科目(記述)、③論文試験、④面接試験

①の教養試験は6割程度の基準点を超えればよいという方式をとっているため、むやみに高得点を狙う必要はありません。つまり数的推理など苦手な科目があったとしても他の科目でカバーすることが可能です。

②の専門科目は、多くの他の公務員試験が採用する択一試験ではなく、記述試験になっており、一見すると難しいと思われるかもしれませんが、いくつかの模範答案の暗記で十分合格できます。つまり、都庁の採用試験の合格にとって一番のキーは、③論文試験と④面接試験です。この対策なくして合格は臨めません。逆に言えば、ここをきちんと対策することで合格が確実なものとなります。

都庁合格者座談会



◆厳しい模擬面接と特訓講座で本番は自信を持って臨めた

一面接試験も苦手な人が多いですが、対策はどのように進めましたでしょうか?

◆論文道場で答案の型を身につける

一都庁では課題式論文の出来が合否を左右すると言われていますが、どのように取り組みましたか?

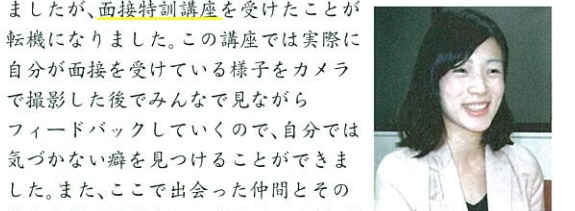
大塚さん 10月から論文道場を受けていましたが、何度も答案を書き直すうちに型をマスターできたと思います。内容面では直前期に都政2012などの資料を熟読しました。直前予想講座で先生が「大穴」と指摘していた「スポーツ振興」について都政資料を読んでおき、本番で当たったので本当に良かったです。



百田さん 論文道場はずっとD評価ばかりでしたが、最後に1通だけC評価(合格点)をもらいました。内容的には全然大したこと書いてないのになぜだろうと考えると、それまではすごく難しいことを書こうとしていたのに、最後の答案だけは簡単な言葉で論理をきちんと踏まえて書いたからだと気づきました。また、論文は問題文をきちんと理解することが大事だと先生から言われたので、本番ではその点に注意しました。



具志堅さん 僕も論文道場で評価が悪かったので20通ぐらいは答案を書き、すべて先生にチェックしてもらいました。本番の1週間前に先生から「角が取れた」と言われてようやく自信が付きました。



岡原さん 私は1次試験までは筆記対策で精一杯だったので、1次発表後に面接対策をはじめました。そこで周りの人より出遅れていることに気づき、焦りや恐怖心からつぶれかかりましたが、面接特訓講座を受けたことが転機になりました。この講座では実際に自分が面接を受けている様子をカメラで撮影した後でみんなで見ながらフィードバックしていくので、自分では気づかない癖を見つけることができました。また、ここで出会った仲間とその後も面接の練習をして、「すごいよ」と励まされて自信ができました。おかげで面接試験直前には楽しみにさえていて、本番では楽しく話せました。

渡邊さん 民間企業を回って最終面接で全部落とされたことがトラウマになって、面接試験の前には不安に苛まれ、先生の前で泣いてしまいました。面接特訓講座の時にも参加者の中で一番緊張してしまい、大恥をかきました。緊張しやすくて人の目を見て話すのが苦手なこと、大学時代に人に誇れるようなことをしなかつたという思い込みが原因でした。ですが先生と話すうちに、人に誇れる部分を見つけることができ、徐々に自信を回復しました。その後も何度も模擬面接をこなす中で緊張が和らいで、本番は笑顔で話すことができ、力を出し切りました。思いもかけず高順位で合格できていたので、面接の評価が良かったのだと思います。



※合格率は喜治塾のコースに在籍し、8割以上出席した塾生が都庁I Bの1次試験に合格した率